



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	146,467	20.8	3,842	35.8	4,648	59.6	2,998	89.2
2023年3月期第1四半期	121,214	6.1	2,830	△8.9	2,913	△4.7	1,585	△1.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,392百万円(88.6%) 2023年3月期第1四半期 2,859百万円(88.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	31	78	28	81
2023年3月期第1四半期	16	80	15	22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	378,105	132,316	34.1
2023年3月期	381,977	131,115	33.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 129,067百万円 2023年3月期 128,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期(予想)配当金の内訳 普通配当 43円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	270,000	2.5	8,000	0.4	7,800	4.0	4,200	1.4	44	51
通期	600,000	4.8	24,000	13.5	23,500	14.0	13,500	11.9	143	08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	101,669,400株	2023年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,319,175株	2023年3月期	7,319,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	94,350,225株	2023年3月期1Q	94,350,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に起因する行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方、ロシア・ウクライナ情勢、円安進行の長期化等による食料・エネルギー価格や原材料価格の高騰、それに伴う更なる物価高の懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことに伴い、医療機関への病床確保料の見直しや診療報酬上の特例の見直し等が実施されましたが、引き続き効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が順調に推移したこと等により、概ね計画通りに推移いたしました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2024」の2期目にあたり、当初掲げた4つの重点施策「コア事業の更なる高成長」「積極的なバリューの拡大」「機能強化戦略」「サステナビリティに対する取組み」については引き続き推進してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は146,467百万円（前年同四半期連結累計期間比20.8%増）、営業利益は3,842百万円（前年同四半期連結累計期間比35.8%増）、経常利益は4,648百万円（前年同四半期連結累計期間比59.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,998百万円（前年同四半期連結累計期間比89.2%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、引き続きメーカー系において電装部品の長納期化や原材料価格の高騰の影響を受けた一方で、プロジェクト案件が堅調に推移いたしました。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。さらに、昨年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が、当期は第1四半期連結累計期間より寄与いたしました。

この結果、売上高は27,876百万円（前年同四半期連結累計期間比66.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,326百万円（前年同四半期連結累計期間比112.6%増）となりました。

②メディカルサブライ事業

メディカルサブライ事業におきましては、原材料価格や物流コスト高騰の影響を受けた一方で、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

この結果、売上高は101,771百万円（前年同四半期連結累計期間比12.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,245百万円（前年同四半期連結累計期間比26.5%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、光熱費高騰の影響を受けた一方で、引き続き高い入居率を維持いたしました。また、給食事業では前期にグループ入りした企業の業績が寄与したこと等により増収となりました。

この結果、売上高は8,920百万円（前年同四半期連結累計期間比30.6%増）、セグメント利益（営業利益）は564百万円（前年同四半期連結累計期間比6.2%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規出店及び経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は7,899百万円（前年同四半期連結累計期間比9.5%増）、セグメント利益（営業利益）は737百万円（前年同四半期連結累計期間比15.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は378,105百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,871百万円減少いたしました。その主な要因は、「現金及び預金」が8,217百万円、「投資有価証券」が2,882百万円、「商品及び製品」が2,054百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が18,690百万円減少したこと等によるものであります。

負債は245,789百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,073百万円減少いたしました。その主な要因は、「電子記録債務」が5,222百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が9,685百万円、「未払法人税等」が3,264百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は132,316百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,201百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により「利益剰余金」が3,962百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により「利益剰余金」が2,998百万円、「その他有価証券評価差額金」が1,555百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.1%（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2023年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,839	89,056
受取手形、売掛金及び契約資産	131,539	112,849
電子記録債権	5,374	6,590
リース投資資産	3,102	3,056
商品及び製品	21,389	23,443
仕掛品	3,776	4,164
原材料及び貯蔵品	1,504	1,603
その他	10,817	12,129
貸倒引当金	△1,101	△1,189
流動資産合計	257,241	251,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,446	23,658
土地	18,209	18,045
賃貸不動産（純額）	10,951	11,077
その他（純額）	12,521	11,936
有形固定資産合計	65,127	64,717
無形固定資産		
のれん	12,320	12,008
その他	3,828	3,703
無形固定資産合計	16,149	15,711
投資その他の資産		
投資有価証券	25,424	28,307
長期貸付金	7,117	7,077
その他	12,605	12,283
貸倒引当金	△1,689	△1,696
投資その他の資産合計	43,458	45,972
固定資産合計	124,735	126,400
資産合計	381,977	378,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,883	100,197
電子記録債務	28,622	33,845
短期借入金	1,815	1,752
未払法人税等	5,332	2,067
賞与引当金	2,908	2,992
1年内償還予定の新株予約権付社債	25,016	25,010
その他	23,441	26,528
流動負債合計	197,020	192,395
固定負債		
長期借入金	41,571	40,555
退職給付に係る負債	3,383	3,394
資産除去債務	1,156	1,157
その他	7,730	8,286
固定負債合計	53,842	53,394
負債合計	250,862	245,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,533	23,447
利益剰余金	100,158	99,194
自己株式	△15,526	△15,526
株主資本合計	123,718	122,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,978	4,534
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	1,305	1,826
退職給付に係る調整累計額	32	35
その他の包括利益累計額合計	4,319	6,398
非支配株主持分	3,077	3,249
純資産合計	131,115	132,316
負債純資産合計	381,977	378,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	121,214	146,467
売上原価	109,659	132,331
売上総利益	11,554	14,136
販売費及び一般管理費	8,724	10,294
営業利益	2,830	3,842
営業外収益		
受取利息	79	80
受取配当金	107	138
持分法による投資利益	-	530
為替差益	-	82
その他	102	126
営業外収益合計	288	959
営業外費用		
支払利息	76	110
持分法による投資損失	3	-
為替差損	113	-
支払手数料	8	9
その他	3	32
営業外費用合計	205	152
経常利益	2,913	4,648
特別利益		
固定資産売却益	1	43
その他	0	-
特別利益合計	1	43
特別損失		
固定資産除却損	6	3
持分変動損失	2	-
関係会社株式売却損	-	129
その他	2	0
特別損失合計	11	133
税金等調整前四半期純利益	2,903	4,558
法人税、住民税及び事業税	1,166	1,405
法人税等調整額	208	157
法人税等合計	1,375	1,563
四半期純利益	1,527	2,995
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△57	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,585	2,998

四半期連結包括利益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,527	2,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	303	1,555
為替換算調整勘定	1,013	835
退職給付に係る調整額	△4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	19	4
その他の包括利益合計	1,332	2,397
四半期包括利益	2,859	5,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,741	5,280
非支配株主に係る四半期包括利益	118	111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,707	90,461	6,831	7,214	121,214	—	121,214
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	564	371	18	23	978	△978	—
計	17,271	90,832	6,849	7,238	122,192	△978	121,214
セグメント利益	624	984	531	641	2,781	48	2,830

(注)1 セグメント利益の調整額48百万円には、セグメント間取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等66百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メデイカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	27,876	101,771	8,920	7,899	146,467	—	146,467
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,056	245	10	23	1,335	△1,335	—
計	28,933	102,016	8,930	7,923	147,803	△1,335	146,467
セグメント利益	1,326	1,245	564	737	3,874	△32	3,842

(注) 1 セグメント利益の調整額△32百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△5百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。